

11月14日 No.2532

-----2011年(平成23年)-----
週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

昭和41年9月22日 第3種郵便物認可

構成料 年間 25,000円(前納)

1部 530円

(第3種郵便物認可)

包装フィルム

THE HOSO TIMES

TANIX®

TANIXは片面段ボール包装、緩衝材、エンジニアリングの
専門製造メーカーです。

株式会社 田舎タナックス <http://www.tana-x.co.jp/>

11月14日 No.2532
-----2011年(平成23年)-----
週刊 月曜発行
発行人 河村 勝志
昭和41年9月22日 第3種郵便物認可
構成料 年間 25,000円(前納)
1部 530円



受賞式の様子

受賞式の様子
都主催の「中小企業BCP策定推進フォーラム」で対象企業35社の中から最優秀賞に選ばれた。包装関連企業としては初の試みとなる。

緩衝材・梱包材などの設計・製造・販売を行っている生出(東京都西多摩郡、〒042-5577-0266)は、10月20日に東京ビッグサイトで行われた東京都主催の「中小企業BCP策定推進フォーラム」で対象企業35社の中から最優秀賞に選ばれた。包装関連企業としては初の試みとなる。

生出

危機管理対策を万全に

BCP策定最優秀賞を受賞

緩衝材・梱包材などの設計・製造・販売を行っている生出(東京都西多摩郡、〒042-5577-0266)は、10月20日に東京ビッグサイトで行われた東京都主催の「中小企業BCP策定推進フォーラム」で対象企業35社の中から最優秀賞に選ばれた。包装関連企業としては初の試みとなる。

受賞式の様子
都主催の「中小企業BCP策定推進フォーラム」で対象企業35社の中から最優秀賞に選ばれた。包装関連企業としては初の試みとなる。

BCPとは事業継続計画の意で、地震や事故、洪水などの大規模災害が起きた場合、事業を早急に復旧させるための対応策を事前に策定しておくことをいう。大規模災害で事業継続が困難になる可能性が高いのは特に中小企業で、東京都では中小企業のBCP策定の取り組みを推進させるために東京都BCP策定

新たに製品化したシートフィルムは、持続的に利用できる再生可能資源として注目される植物由来のバイオマスPE原料を使用

している。これを独自の製膜技術を駆使してLDPPEフィルム原料の50%を代替化して製造。シール強度など石油由来フィルムと同

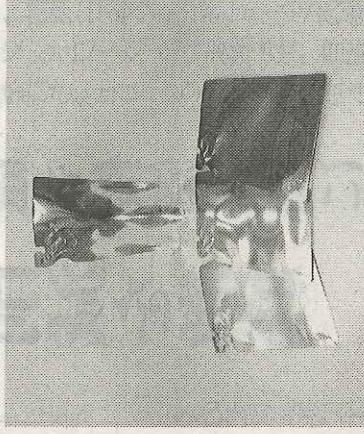
等の物性、加工適性を持つフィルムとして仕上げられている。バイオマスPEシートフィルムは、石油資源由来原料の一部

を植物由来原料に置き換えることで石油資源使用量の削減を実現している。また、廃棄・焼却時に排出されるCO₂は植物により吸収

後は環境に配慮したパッケージを求める。包装ユーザー向け、規格袋や米袋など提案領域を広げながら需要拡大に力を注ぎ考え。

マイワックス

マイワックス(大阪府相原市、〒072-976-0911)は、バイオマスポリエチレン(PE)を使用したシートフィルムを製品化し、詰め替えスタンディングパウチで提案を開始した。すでに全国的に認知度の高いブランドオーナーが採用を決め、来年2月からシャンプー、コンディショナーなどヘアケア商品の発売に向け準備を進めており、今後受注拡大へ営業活動を本格化する。



詰め替えスタンディングパウチで採用

新たに製品化したシートフィルムは、持続的に利用できる再生可能資源として注目される植物由来のバイオマスPE原料を使用

している。これを独自の製膜技術を駆使してLDPPEフィルム原料の50%を代替化して製造。シール強度など石油由来フィルムと同

等の物性、加工適性を持つフィルムとして仕上げられている。バイオマスPEシートフィルムは、石油資源由来原料の一部

を植物由来原料に置き換えることで石油資源使用量の削減を実現している。また、廃棄・焼却時に排出されるCO₂は植物により吸収

後は環境に配慮したパッケージを求める。包装ユーザー向け、規格袋や米袋など提案領域を広げながら需要拡大に力を注ぎ考え。

生出

危機管理対策を万全に

BCP策定最優秀賞を受賞

緩衝材・梱包材などの設計・製造・販売を行っている生出(東京都西多摩郡、〒042-5577-0266)は、10月20日に東京ビッグサイトで行われた東京都主催の「中小企業BCP策定推進フォーラム」で対象企業35社の中から最優秀賞に選ばれた。包装関連企業としては初の試みとなる。

受賞式の様子
都主催の「中小企業BCP策定推進フォーラム」で対象企業35社の中から最優秀賞に選ばれた。包装関連企業としては初の試みとなる。

BCPとは事業継続計画の意で、地震や事故、洪水などの大規模災害が起きた場合、事業を早急に復旧させるための対応策を事前に策定しておくことをいう。大規模災害で事業継続が困難になる可能性が高いのは特に中小企業で、東京都では中小企業のBCP策定の取り組みを推進させるために東京都BCP策定

支援事業を実施した。2011年は都内の35社の中小企業に研修やコンサルタントの派遣などを行いBCP対策支援を行った。これら東京都からBCP支援を受けた35社の中から最も模範的であった同社に最優秀賞が贈られた。同社がBCP策定に取り組んだ経緯は、多摩地区にある立川断層の危険性が指摘されているため、起こりうる可能性のある災害に対する対応策は以前より必要であった。BCP策定の重要な

項目は大きく分けて二つで、それは従業員の生命や安全、次に工場やもしくは関連工場が被災した場合、ユーザーへの製品の供給をどのように行なうか、がテーマになる。同社はこれらの課題に対して優れた対応を行う準備を行っており、特にユーザーへの製品供給に関しては、同業他社との連携を深めることで、対応した。同社の工場が被災した場合は協力他社と社で対応するつもり。東日本大震災で、サ

焦点 2011

地球温暖化ガスの発生抑制のため世界的に高効率モーターに関する規制が広がっている。米国、EU、中国、カナダ、韓国、ブラジルなど同規制をすでに開始している地域に共通しているのは電力消費量が多いことで、それぞれ最低エネルギー消費効率基準(MEPS)などの政策により電機製品のエネルギー単位削減に取り組んでいる。今回は主要国地域の規制状況について触れる。

米国では、1992年に成立したエネルギー政策法で「誘導電動機の効率に関する規制」を製造業者に要求し、97年から施行。0

ブラジチェーンが寸断されたことで、さまざまな商品に影響を及ぼしたことは記憶に新しくBCPに策定しているかどうかを、取引条件に入れている企業は、大手企業を中心に広まりつつある。営業面においても訴求力が、ありメリットが大きい。また、11月21日の18時30分から調布市文化

75〜150キロ、EUでは、EHP指
2〜6極、230V/4 令(エネルギー消費型
60以下の製品を対象に 製品のエネルギーインに
IE2相当の規制が 関する枠組み指令)の
始まった。02年からは 実施措置である欧州委
モーターに取り付けら 員会規則を09年7月に
れる定格銘板にモーター 採択、同年8月から施
1の全負荷効率値と米 行した。対象モーター
国エネルギー省が交付 の出力は0.75〜3
する適合証明番号の表 75キロまで、義務化開
示が義務付けられた。 始は3段階。11年6月

高効率モーター規制の現状②

主要国地域の相 IE3に段階的

さらに10年12月からは からはすべてIE2レ
エネルギー独立安全保 ベルを満たすこと。15
障法により、すでに規 年1月からは7.5〜
制対象だった製品の効 37.5キロ製品につい
率レベルがIE2から てIE3レベルを満た
IE3に引き上げら すかIE2レベルに
れ、従来対象外だった ンベーターを搭載する
製品(0.75〜37 こと。17年1月からは
5キロ、2〜8極、6 0.75〜37.5キロ
00以下)はIE2 についてIE3レベル
レベルで規制対象とな を満たすかIE2レベ
っている。 ルにインベーターを搭

会館づくりで、調布市近郊の市町村に所在する中小企業を招き、BCPの普及啓発活動の一環として同社の事例報告を行う予定だ。